

第 11 期 pES club step4 大会医学生シナリオ

平成 24 年 6 月 24 日

東京北社会保険病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは海老伝巣医科大学附属病院総合診療科の 1 年目後期研修医です。

ある日の初診外来に、糖尿病と高血圧症で他院通院中の古湖喜多依さん（46 歳女性）がやってきました。古湖さんが持ってきた紹介状によれば、10 年来の糖尿病と高血圧症でメトグルコ®500mg 分 2 とタナトリル®5mg 分 1 を内服していて、HbA1c（NGSP 値）6.8%，血圧は概ね収縮期血圧が 120mmHg 台、拡張期血圧が 70mmHg 台とコントロール良好です。それ以外の病気は特になさそうで、夫の転勤で福井から引っ越してきたため、当院での継続診療を依頼されたものでした。

当院では、外来患者の増加で内科の再診外来が飽和状態にあります。また病院としても、行政からの指導により、近隣の医療機関、特に診療所との病診連携を進めていく方針です。そのため教授からは、大学病院で診療するにはあまりに軽症であり、病状が安定している患者さんには、自宅近くの診療所に通院してもらうように厳命されています。

あなたは古湖さんに、現在の病状では当院で継続的に診療をすることは困難であることを説明し、診療所への通院を勧めてください（10 分間）。